

島根県在宅医療介護連携推進事業に
かかる意見交換会

出雲市における 在宅医療介護連携の取組

令和7年2月16日（日）

出雲市 健康福祉部 医療介護連携課

本日本話すること

1. 出雲市における医療介護資源の現状

2. 第1次在宅医療・介護連携推進基本計画
(ルピナスプラン)

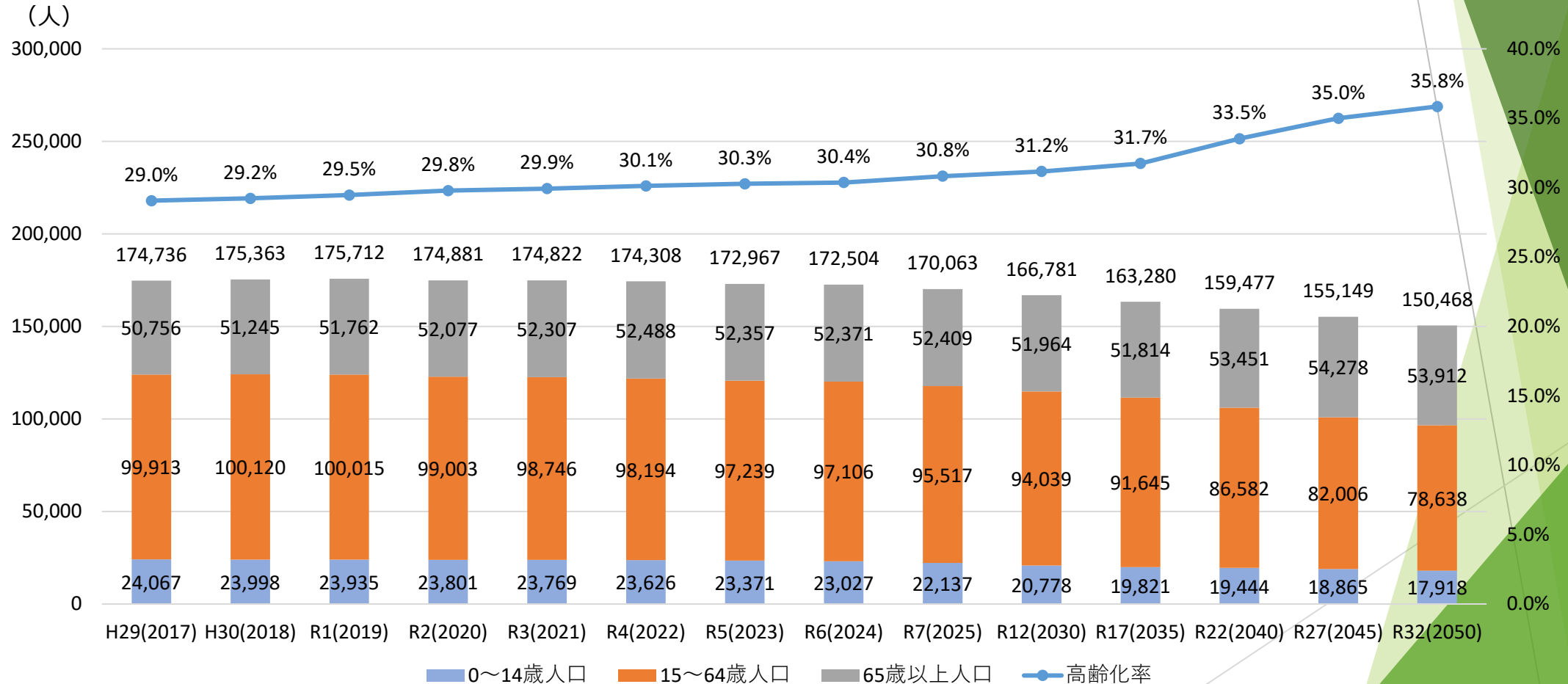
3. 在宅医療・介護連携の取組

1. 出雲市における医療介護資源の現状

人口推計

- ▶ R6の17万人からR22には約16万人、R32には約15万人へと減少する見込み。
- ▶ R6⇒R32 0～14歳 22.2%減 15～64歳 19.0%減 65歳以上 2.9%増。

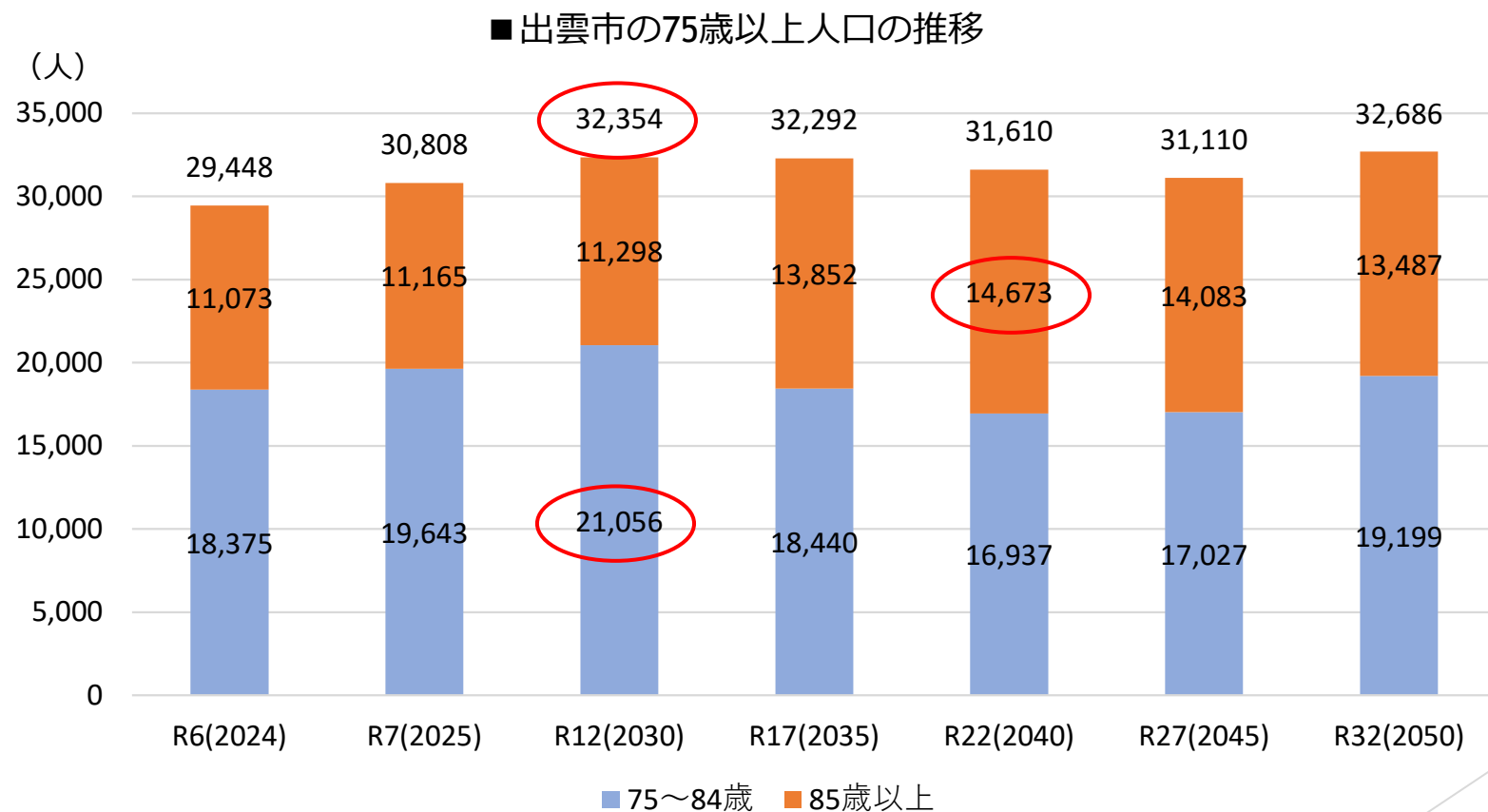
■ 出雲市の人口・高齢化率の推移



出典：H29～R6は各年度4月末住民基本台帳。R7以降はR5社会保障人口問題研究所推計値

75歳以上人口

- ▶ 75歳以上、75～84歳人口はR12（2030）にいったんピークを迎える。
- ▶ 85歳以上人口はR22（2040）にピークを迎える。



出典：R6は4月末住民基本台帳。R7以降はR5社会保障人口問題研究所推計値

要介護・要支援認定者

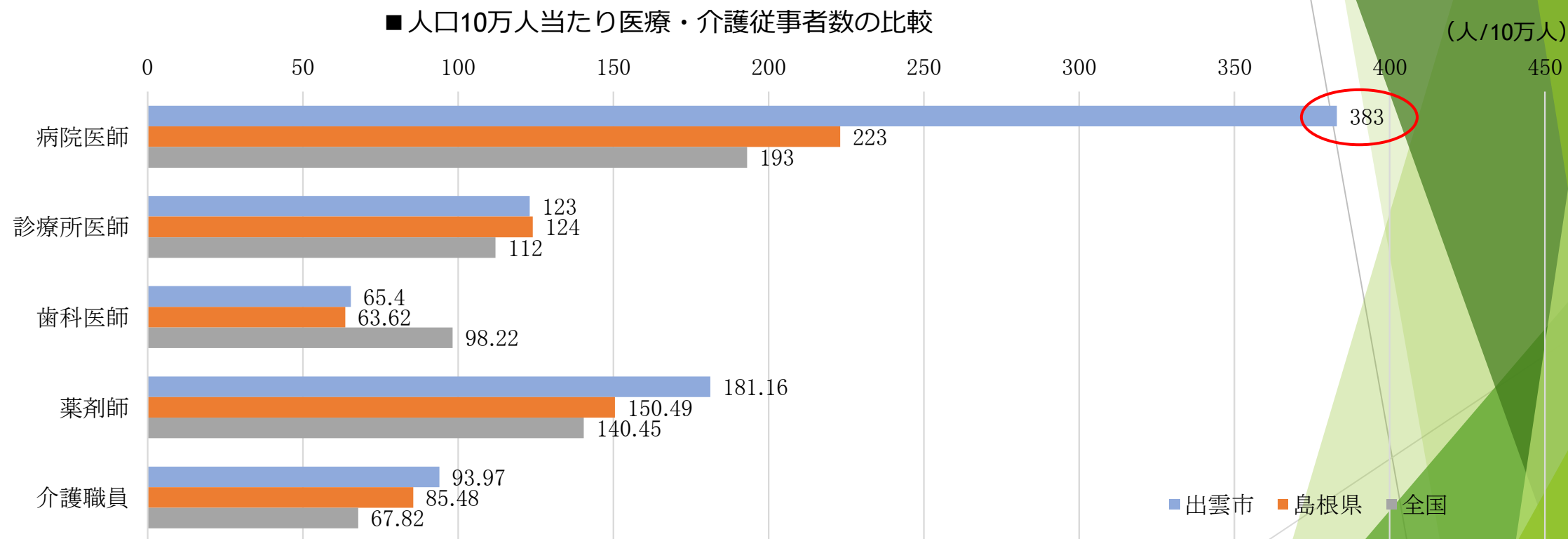
- ▶ 65～84歳は人口減少に伴い介護・支援認定者も減少が見込まれる。
- ▶ 全ての区分において実数・割合ともに85歳以上が増加。

■ 出雲市の年代階級別要支援・要介護認定者数の推移

区分	65～74歳			75～84歳			85歳以上		
	R5	R8	R22	R5	R8	R22	R5	R8	R22
要支援1	133	124	122	396	398	358	555	575	748
要支援2	143	117	113	505	533	488	844	862	1,125
要介護1	284	268	259	828	808	740	1,691	1,759	2,336
要介護2	175	163	155	548	557	506	1,340	1,477	1,942
要介護3	128	107	105	331	357	327	1,005	1,014	1,341
要介護4	74	71	67	247	256	235	805	876	1,148
要介護5	66	65	63	190	197	176	476	482	627
合計	1,003	915	884	3,045	3,106	2,830	6,716	7,045	9,267
高齢者人口	23,491	21,202	21,841	17,607	19,924	16,937	11,189	11,192	14,673
認定率	4.3%	4.3%	4.0%	17.3%	15.6%	16.7%	60.0%	62.9%	63.2%

医療資源施設数（10万人あたり）

- ▶ 全般的に全国平均、島根県平均と比べて多いが診療所医師数は島根県と同程度。



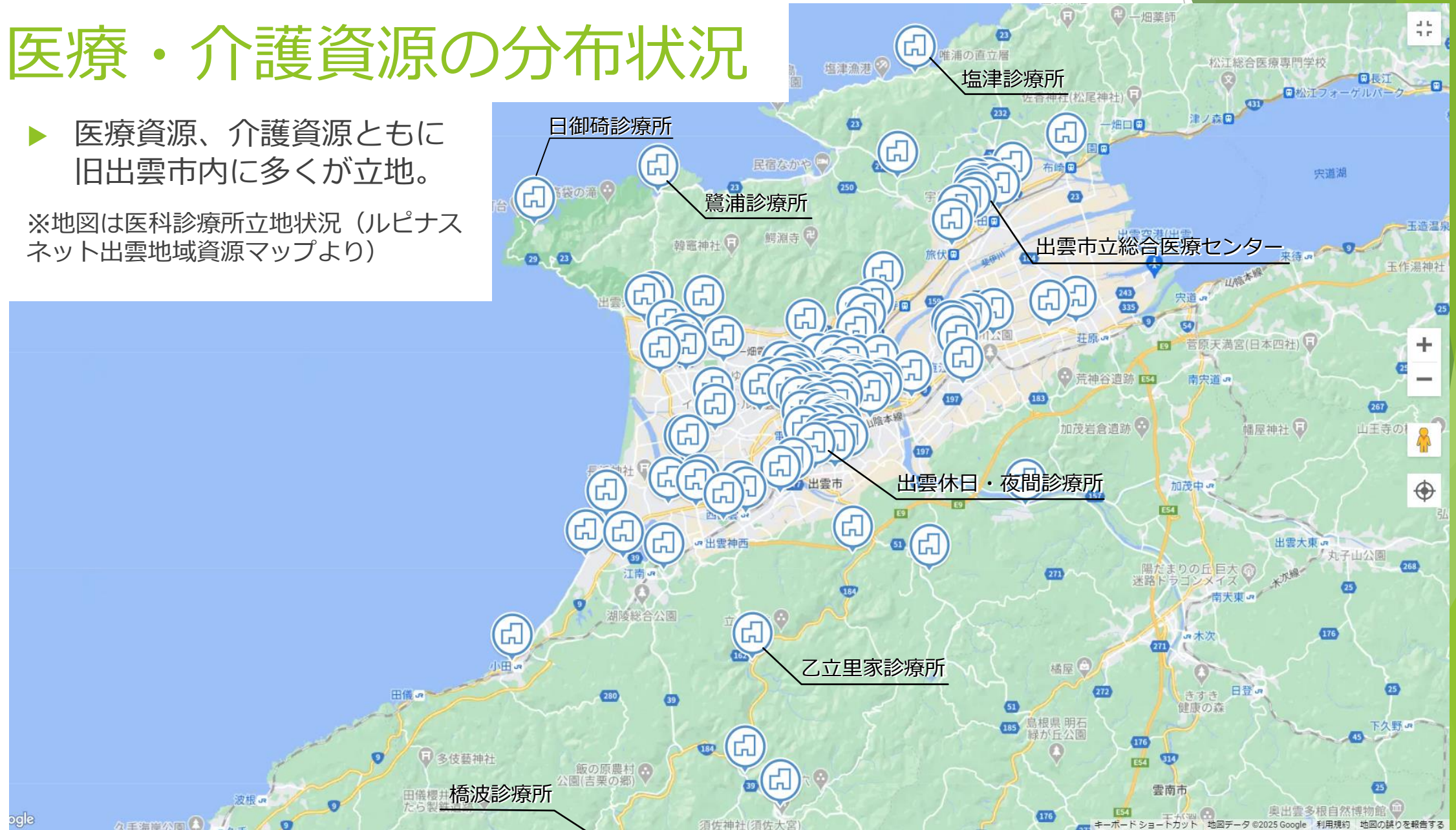
出典：病院医師数、診療所医師数－令和2年医療施設動態調査

歯科医師、薬剤師、介護職員－地域医療情報システム（医療機関情報はR4.11時点、介護施設情報はR4.9時点）

医療・介護資源の分布状況

- ▶ 医療資源、介護資源ともに旧出雲市内に多くが立地。

※地図は医科診療所立地状況（ルピナスネット出雲地域資源マップより）



令和6年7月9日の大雨対応について

出雲市は、日御碕地区唯一の診療所である市立日御碕診療所（週1回診療）を従前より設置。

- ▶ 7月9日(火)大雨により県道29号線の道路崩落。日御碕地区が孤立。通院及び処方が課題化。
- ▶ 7月10日(水)～12日(金) 日御碕地区へ県立中央病院及び島根大学医学部附属病院より、DMAT(災害派遣医療チーム)派遣

※ DMAT派遣終了に合わせ、保健所、出雲市立総合医療センター、出雲市医療介護連携課で日御碕地区の診療体制を協議

- ▶ 7月16日(火)日御碕地区の災害対策会議で説明
- ▶ 7月16日(火)～8月27日(火) 市立総合医療センターより医療スタッフを派遣し、日御碕診療所を拠点に週1回診療

※処方薬は、出雲市医療介護連携課がお届け

※ 8月11日（日）より日御碕緊急用仮設通路が地域住民も通行可能となったが、地域住民への通行証の配布期間を踏まえ27日までの派遣とした。

(参考) 地域住民への周知文書

7月の日御碕診療所での診療について

この度、日御碕診療所を活用し、出雲市立総合医療センターの医療スタッフによる診療を行います。7月の診療日は以下のとおりとなります。なお、8月以降の診療日時については、7月下旬にご案内いたします。

○日御碕診療所(大社町宇籠338番地3) ☎ 54-5166※診療時間外は不在

診療日	診療時間
7月16日(火)	14:00～16:00
7月23日(火)	14:00～16:00
7月30日(火)	14:00～16:00

※診療日は状況に応じて変更となる場合があります。

(お願い)

- 1 物資供給が困難な中での限られた診療となるため、日御碕地区外のかかりつけの医療機関で受診が可能の方は、なるべくそちらで受診いただきますようお願いいたします。
 - 2 診療所にお薬については院外処方となり、市の職員が日御碕地区外から日御碕コミュニティセンターへお届けするまで、数日かかることもあるため、1週間分のお薬が残っている段階での早めの受診をお願いします。
 - 3 受診の際は、必ず保険証(マイナンバーカード不可)とお薬手帳を持参願います。
- 以上、ご不便、ご面倒をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先:出雲市健康福祉部医療介護連携課 21-6121

お薬のお届けについて

日御碕地区外への外出が困難な方のため、原則大社町内の薬局で調剤されたものに限りますが、お薬を毎週木曜日に日御碕診療所へお届けします。

お届けにあたり、以下のお願いについてご協力いただきますようお願いいたします。

(お願い)

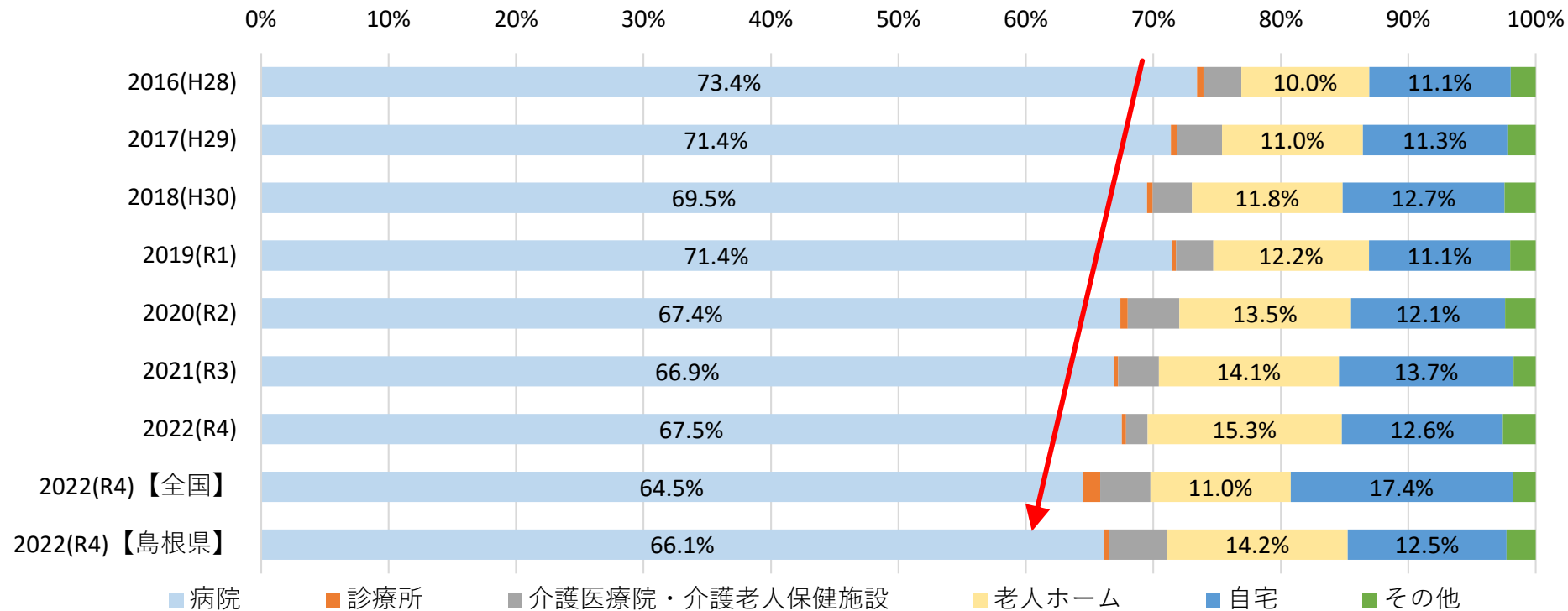
- 1 お薬については、原則お届けする前日の水曜日に各薬局より受領することとなりますので、処方せんの発行された時期によっては、翌週の対応となる可能性もあります。1週間分のお薬が残っている段階で、早めの処方を受けるようお願いいたします。
- 2 お薬は、原則日御碕診療所でお渡しします。日御碕診療所より、お薬が届いている旨の連絡があった際は、速やかにお受け取りに来ていただきますようお願いいたします。
- 3 日御碕地区外への外出が困難な方への取組のため、日御碕地区外の薬局に行って、お薬のお受け取りが可能な方は、そちらの薬局で直接お受け取りいただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先: 出雲市健康福祉部医療介護連携課 21-6121

場所別死亡率

- ▶ 病院で死亡する割合が年々減少傾向にある。
- ▶ 最後を迎える場所の選択肢が病院以外にも広がりつつある。

■ 場所別死亡率の推移



出典：人口動態調査

出雲市における医療介護連携の現状と課題

現状

生産年齢人口の減少、高齢者人口の増

R22（2040）に85歳以上人口がピークに

医療介護資源の偏在

比較的多くの医療介護従事者の存在

病院以外での死亡率増加

課題

限られた医療介護資源の効率的活用

75歳以上人口がピークを迎えるR12（2030）
を目途とした地域包括ケアシステムの充実

沿岸部や山間部への安定・継続した
サービス提供

職能団体、専門職、行政等の効率的連携

在宅医療・介護にかかる普及啓発推進

2. 第1次在宅医療・介護連携推進基本計画 (ルピナスプラン)

ルピナスとは

- ▶ マメ科の植物の名前で、花言葉は「いつも幸せ」「多くの仲間」
- ▶ たくさんの花びらが上へ昇っていくようなイメージと、多職種が一体となって多くの方に「いつも幸せ」と感じてもらえるような職務ができるようにと、連携を意識するキーワードとして設定。



計画策定の主旨

【背景】

- 平成26年度（2014）介護保険法改正⇒在宅医療・介護連携推進事業の地域支援事業への位置づけ
- 平成27年（2015）4月、医療介護連携室設置（医療対策室から名称変更）
- 平成28年（2016）4月、医療介護連携室を医療介護連携課へ昇格
- 平成29年（2017）7月に「在宅医療と介護連携のための指針」を策定

指針の発展型

【令和3年3月策定】

団塊の世代が85歳になり始める令和12年（2030）を目途に、地域包括ケアシステム実現に向け、専門職が連携して継続的なサービスを提供するために基本的な方針やめざすべき姿を共有する。

進行管理

- ▶ 出雲市在宅医療・介護連携推進連絡会議において、前年度の各取組の実施状況及び各種指標を確認。
- ▶ 3年に1回、高齢者福祉計画・介護保険事業計画と同時期に見直しを行う。

年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
高齢者福祉・ 介護保険計画	第 8 期計画			第 9 期計画			第 10 期計画		
在宅医療 介護連携 推進計画	実行 評価	実行 評価	実行 評価 <u>見直し</u>	実行 評価	実行 評価	実行 評価 <u>見直し</u>	実行 評価	実行 評価	実行 評価 <u>次期計 画策定</u>

出雲市在宅医療介護連携推進連絡会議

▶ 役割

- ・在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出、解決策の検討。
- ・ルピナスプランの作成、見直し。
- ・ルピナスプランに掲げる取組の前年度の実施状況とりまとめ、目標の達成度確認。

▶ 構成メンバー

医師会、医師（地域連携、リハ、歯科、在宅医療）、看護師（地域連携、訪問看護）、MSW、理学療法士、薬剤師、ヘルパー、ケアマネ、介護事業者、歯科衛生士、地域包括支援センター等 計20名

▶ 開催頻度

年2回程度

基本方針

実現を目指す高齢者の姿

高齢者一人ひとりが、自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最終段階まで尊厳を保ちながら、心身の状態に応じて可能な限り住み慣れた地域で安心して日常生活を営んでいる。

具体的な目指す姿		取組の方向性
柱 1	高齢者自らが医療・介護が必要になったときに望む暮らしを予め考え、家族や医療・介護関係者と話し合う機会を持っている。	高齢者とその家族が在宅医療や介護について考える機会の提供（啓発）及び医療・介護専門職と共有する仕組みの構築
柱 2	高齢者自らの心身の状態に応じて、その機能の維持・改善や、日常生活に必要なサービスを適切に利用できる。	適切や医療・サービスにつなぐための支援体制の構築（情報提供含む）
		在宅医療・介護サービスを提供する事業所の充実・人材の確保 医療・介護専門職の人材育成とスキルアップのための多様な機関による研修機会の提供
柱 3	在宅療養高齢者の急変時に必要な医療・介護サービスの提供体制が整っている。（看取りを含む）	高齢者本人やその家族の状況に応じた24時間対応可能な体制の構築

取組の体系（一部抜粋）

取組の方向性		取組の区分	主な取組内容
柱 1	高齢者とその家族が在宅医療や介護について考える機会の提供（啓発）及び医療・介護専門職と共有する仕組みの構築	(1)講演会や座談会の開催による市民啓発	・講演会等の開催 ・座談会等の開催
		(2)広報誌やパンフレットなどを活用した市民啓発	・あんしんノートの活用 ・広報誌・パンフの活用 ・ケーブルテレビ等の放送
柱 2	適切や医療・サービスにつなぐための支援体制の構築（情報提供含む）	(3)高齢者向けの相談窓口	・高齢者あんしん支援センターの総合相談
		(4)専門職向けの相談窓口	・在宅医療・介護連携支援センターの相談
		(5)市民への医療・介護サービス等の情報提供	・ポータルサイトでの発信 ・高齢者べんり帳の配布
		(6)専門職間での情報共有	・地域ケア個別会議 ・情報提供の統一化
		(7)在宅療養に関わる支援	・入退院ガイドライン ・低栄養改善・食支援

3. 在宅医療介護連携の取組

■ 在宅医療・介護連携推進事業の事業項目



令和2年2月の手引き改訂により、右側のPDCAサイクルに沿った取組の実施に修正された。

地域の医療・介護の資源の把握

- ▶ 令和6年2月からルピナスネット出雲ポータルサイトを立ち上げ、市内全ての医療介護事業所を登録し、公開。
- ▶ 令和6年度は通いの場や総合事業のサービス提供事業者なども追加し、令和7年1月現在、1,145事業所を登録している。



「ルピナスネット出雲」 電子@連絡帳

ホーム	「ルピナスネット出雲」とは	電子@連絡帳について	同意手順	情報一覧	サポート窓口
-----	---------------	------------	------	------	--------

ホーム > 地域資源マップ



 医療介護福祉

病院

施設名/住所

出雲市民リハビリテーション病院
出雲市知井宮町2 3 8

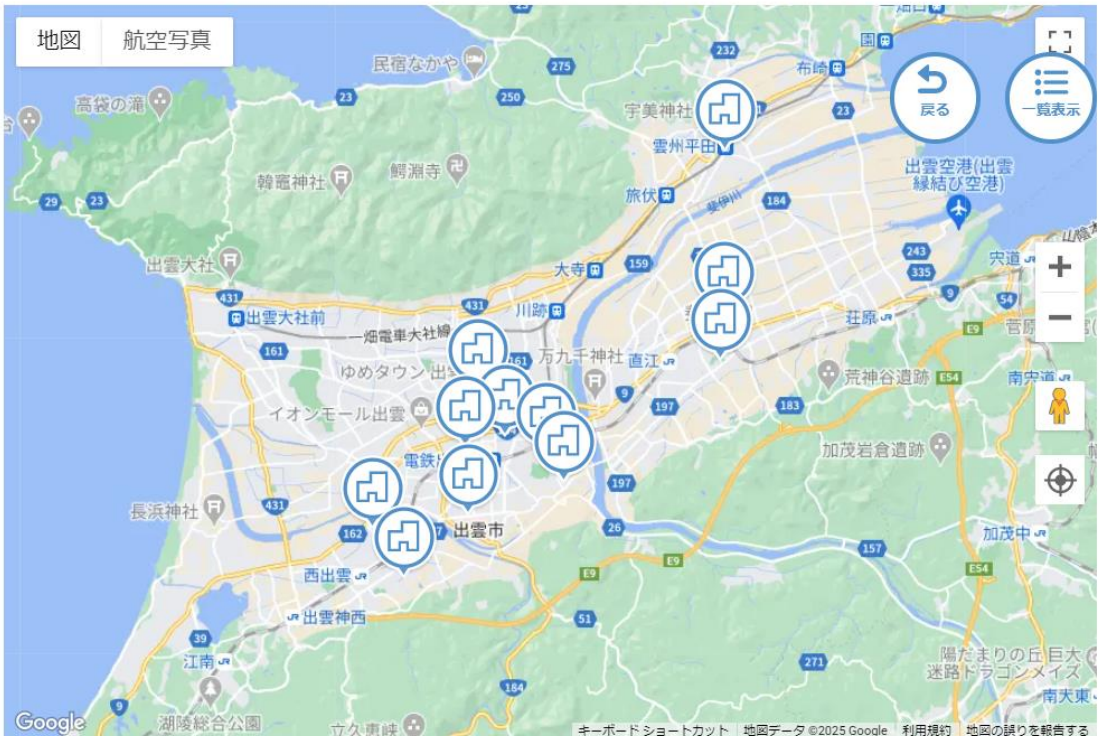
出雲市民病院
出雲市塩治町1 5 3 6 番地 1

出雲市立総合医療センター
出雲市灘分町6 1 3

出雲徳洲会病院
出雲市斐川町直江3964-1

寿生病院
出雲市上塩治町2862-1

地図 航空写真



キーボードショートカット | 地図データ ©2025 Google | 利用規約 | 地図の誤りを報告する

在宅医療・介護連携の課題の抽出

▶ 出雲市在宅医療介護連携推進連絡会議（再掲）

○役割

- ・在宅医療・介護連携の現状把握と課題の抽出、解決策の検討。
- ・ルピナスプランの作成、見直し。
- ・ルピナスプランに掲げる取組の前年度の実施状況とりまとめ、目標の達成度確認。

○構成メンバー

医師会、医師（地域連携、リハ、歯科、在宅医療）、看護師（地域連携、訪問看護）、MSW、理学療法士、薬剤師、ヘルパー、ケアマネ、介護事業者、歯科衛生士、地域包括支援センター等 計20名

○開催頻度

年2回程度

切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

▶ 訪問診療（看護）確保対策事業補助

○事業の目的

山間部や沿岸部への訪問診療・訪問看護サービスを提供する事業所に対して事業費の補助を行い、在宅医療提供体制を確保する。

○業務概要

- ・訪問診療確保対策事業補助 訪問診療 1 回あたり4,000円を補助
- ・訪問看護確保対策事業補助 訪問看護 1 回あたり1,500円を補助
※R4から訪問診療補助単価を500円増

○財源

島根県3/4（地域医療介護総合確保基金） 出雲市1/4（一般財源）

○R5実績

訪問診療	18事業所	対象者163名	回数1,917回	金額 7,668千円
訪問看護	18事業所	対象者247名	回数9,962回	金額14,943千円

訪問診療補助は出雲医師会、訪問看護補助は訪問看護ステーション連絡会と連携して周知。

在宅医療・介護関係者に関する相談支援

▶ 在宅医療・介護連携支援センター

○運用体制

- ・ 出雲市役所医療介護連携課内に設置。H29.10～
- ・ 在宅医療介護連携推進員を2名配置。（社会福祉士、看護師・ケアマネジャー）
- ・ 開設時間 平日8:30～17:15

○業務内容

- ・ 地域における在宅医療、介護サービスに関する情報の収集及び提供
- ・ 医療・介護関係者からの相談対応、必要な情報提供及び助言 等

推進員が様々な職能団体の定例会や研修会等に参加し、顔の見える関係づくりを行っている。

■相談件数の推移

H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
70件	170件	210件	181件	158件	156件	148件

地域住民への普及啓発

▶ 出雲市版終活支援ノート「あんしんノート」

・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の要素を取り入れ、希望者に無償配布。介護保険証や後期高齢者医療保険証送付時にちらし同封。【R5 1,795部配付】

在宅医療座談会を通じた市民への配布だけでなく、医療機関によるACP研修会や、介護専門職向けのノートの書き方講座など、様々な団体と連携して活用の普及拡大を図っている。

▶ 在宅医療座談会

・在宅医療・介護にかかわる様々なテーマで地域へ専門職を派遣。謝金・旅費を市が負担。町内会や地区社協など小規模開催も可。【R5開催実績 20回】

令和6年度から出雲市立総合医療センターと連携してメニューを拡大。利用者の希望にあわせて相互に講師を調整・派遣している。



医療・介護関係者の情報共有の支援

▶ 出雲市入退院連携ガイドライン

主に情報提供の方法及び内容について、入退院のそれぞれの場面に応じて基本的なルールを定めた。令和3年4月～

▶ LINE運用「チームルピナス」

医療介護関係者への直接的な情報手段として運用。主に関係者からの依頼による研修会の開催案内等を発信。令和3年10月～

▶ まめネット活用促進

多くの医療機関等が参加している状況を活用し入院時情報提供書などの書式を統一化。専門職の業務負担軽減等を図る。

▶ ルピナスネット出雲 電子@連絡帳

患者や施設利用者、サービス利用者にかかわる多職種専門職間情報共有の効率化に活用。ケアマネジャーを中心に登録者約350名。令和6年4月～

めざせ！登録者 1,000人

医療・介護関係者限定（出雲市） LINE はじめました



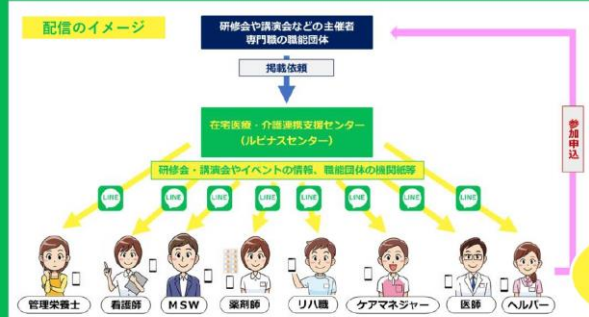


友だち募集中!!

他の職種の活動がわかる！
研修会や講演会の情報が手元に届く！
たくさんの方に講演会やイベントの案内ができる！

出雲市では、医療と介護に携わる皆さまの連携促進と情報収集のツールとして、「LINE 公式アカウント」を開設しました。この LINE では、医療・介護関係者向けの研修会やイベントの案内、各職能団体の活動紹介など医療や介護に係る様々な情報を発信していきます。また、LINE による問い合わせの受付も行います。

配信のイメージ



研修会や講演会などの主催者
専門職の職能団体
↓
掲載依頼
↓
在宅医療・介護連携支援センター（ルピナスセンター）
↓
研修会・講演会やイベントの開催、職能団体の活動情報
↓
LINE
↓
管理栄養士 看護師 MSW 薬剤師 リハ職 ケアマネジャー 医師 ヘルパー

友だち登録は
こちらから



登録などで
わからないことが
あれば、気軽に
お尋ねください！

出雲市在宅医療・介護連携支援センター ☎0853-21-6906
Mail/iryou-kaigo@city.izumo.shimane.jp

医療・介護関係者の研修

▶ 在宅医療介護連携推進団体補助金

地域の在宅医療介護関係者の連携強化、在宅医療について市民への普及啓発を図るため、医療・介護関係者が自主的に実施する各種研修会等を支援

団体名	活動内容
在宅療養懇話会	在宅医療に関わる多職種からの事例紹介等による研修会を開催。 職種間の連携・相互理解を促す。
出雲認知症 サポート医会	認知症対策の推進役として、かかりつけ医のサポート、研修会開催、 多職種連携体制構築。
出雲リハケアネット	急性期病院から在宅まで、リハビリに関する医療介護従事者の多職種連携 体制構築。
※特定課題募集による 公募	市が掲げる特定課題に対し、医療介護関係者が自ら実施する事業経費を補助。 【R6採択団体】 ・ 出雲の高齢者看護向上委員会（ACP普及啓発） ・ 出雲圏域病病連携会議（身寄りのない高齢者支援体制検討） ・ 出雲地域介護支援専門員協会（身寄りのない高齢者支援体制検討） ・ 介護サービス事業者連絡会 訪問介護部会（専門性の高度化研修） ・ いずもACP推進チーム（専門職のACP実践力向上）